



みんなの『足』となる公共交通

立科町には、町内を運行する路線バス「たてしなスマイル交通」3路線のほか、東信観光バス(株)が運行する大屋方面への中仙道線と丸子方面への丸子線、千曲バス(株)が運行する佐久平方面への中仙道線が運行されています。

各路線、町内外への通院や通学に利用されている大変重要な交通手段ですが、**利用者が少なく、今後の利用状況によっては、運行規模の縮小等見直しが必要**になります。

これからも運行を継続していくためには、多くの皆様にご利用いただくことがとても大切です。

子どもや高齢者、いわゆる交通弱者の足となる公共交通を守るため、ご協力をお願いします。

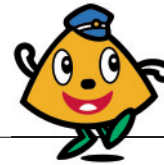
平成29年度利用者数

	利用者数	前年度比 ()内H28利用人数
西回り線	7,105名	-996名 (8,101名)
東・南回り線	4,826名	-5,344名 (5,344名)
シラカバ線	8,023名	-1,212名 (9,235名)
全路線	19,954名	-2,726名 (22,680名)

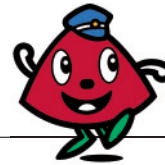
おやまちゃん



おこめちゃん



りんごちゃん



福祉型デマンドタクシーもご利用ください

スマイル交通ではバスに併せて福祉型デマンドタクシーを運行しています。平成30年4月からご利用要件の範囲が拡大され更に多くの皆さんにご利用いただけます。(事前のお申し込みが必要です)

詳しくは企画課までお問い合わせください。

●お問合せ先 企画課 電話 88-8403

立科町国際交流推進協議会が発足しました

平成30年2月に立科町がウガンダ共和国のホストタウンに登録されました。

これを受けて、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に出場するウガンダ共和国陸上競技、中・長距離種目出場選手の事前合宿の受入れや、町民皆さんとの交流などのホストタウン事業の推進、また、ホストタウン登録を契機とした国際交流推進を目的とした、立科町国際交流推進協議会が7月4日に発足しました。

構成会員は次のとおりです。

(敬称略)

会 長	立科町長	米村 匡人
副会長	立科町議会議長	西藤 努
会 員	立科町副町長	山浦 智城
	立科町議会総務経済常任委員長	森本 信明
	立科町議会社会文教建設常任委員長	榎本 真弓
	立科町教育長	宮坂 晃
	立科町商工会長	浦野 喜芳
	(一社) 信州たてしな観光協会会長	田村 淳一
	ウガンダ政府公認コーディネーター (株) スマイリーアース代表取締役	奥 龍将
監 事	立科町監査委員	寺島 秀勝
	立科町監査委員	滝澤寿美雄